

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	札幌市立発寒東小学校 第3学年 63名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(体育) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック選手の話を知ったり、実際に種目を体験したりすることを通して、オリンピックや様々なスポーツに関心をもつ。 ・2020年の東京オリンピックにも関心を寄せたり、オリンピックの歴史や意義について考える。
5 取組内容	<p>○指導計画【2時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック選手の話を知く ・オリンピックミュージアムの展示見学 ・体験学習 ・ジャンプ台の見学 <p>○取組の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルディック複合加藤大平選手の講演を聞き、冬季オリンピック競技に対する理解を深めるとともに、冬のスポーツに対する興味・関心を深めた。



	<ul style="list-style-type: none"> ・「札幌オリンピックミュージアム」内の施設を探索し、冬のスポーツに対する理解を深めた。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大倉山ジャンプ競技場を観覧し、実物のラージヒル規模のジャンプ台の大きさを実感するとともに、ジャンプ競技の過酷さについての理解を深めた。 	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のスポーツを実際に疑似体験することを通して、楽しみながら興味・関心をもつことができた。 ・オリンピックに出場した選手の話、真剣に聞き入り、夢をもち、諦めずに努力する大切さについて学ぶことができた。 ・スキーのジャンプ台の高さや風景の見え方などを目の当たりにしてジャンプ競技の過酷さや選手のすごさを知り、憧れをもつことができた。 	
<p>7 実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に札幌オリンピックミュージアムに行くことで、冬のスポーツに対する児童の興味・関心を高めた。 ・疑似体験をすることにより、いろいろな競技を身近に感じるとともに競技に対する関心を喚起した。 	
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市の地理や街並みを観察する学習活動との関連を図ることにより、社会科の学習などに関連させた指導も可能となり、ふるさと札幌の素晴らしさを実感させるような広がりのある学習を展開できた。 ・バスの拘束時間が午前中だけと短時間のため、全ての子どもが十分に体験活動に浸る時間的な余裕がもてなかった。 	
<p>9 今後の取組について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季オリンピックの開催都市としてのふるさと札幌に対する誇りをもたせることをねらいとして、スキー学習等の機会を活用しながら、冬のスポーツに対する興味・関心を高めたい。 ・次年度も本事業に応募し、教育課程に位置づいた学習活動として指導内容をよりよいものへと洗練する。 	